



だいまるゆう

大手町・丸の内・有楽町（以下、大丸有）地区のサステイナブルなまちづくりを行うシンク&ドゥタンク「エコツェリア協会」では、まちづくりや未来の社会を考えるイベントやプロジェクトを多数実施しています。本ニュースレターでは、当月のイベントや各プロジェクトの進捗をまとめ、当協会の情報を提供します。2月は「生物多様性委員会」の最終検討が行われ、都市ならではの生物多様性のありかたへの提言に向けて議論を深めていきます。

2月26日(木)～ TIP*S / 3×3Labo

システムデザインシンキング vol.4
～風が吹けば桶屋が儲かる～
「丸の内から東京の都市を考える」

ビジネス創発拠点でデザイナーからイノベーション創出手法を学ぶ

全国の中小企業・小規模事業者と丸の内大手企業コミュニティを連携させ、東京駅前でのビジネス創発を支援する交流・活動拠点「TIP*S / 3×3Labo」では、様々なイベントやプログラムを開催しています。2月26日から4週に渡り行われるのは、新しいビジネスを生み出すために欠かせないイノベーション手法のひとつ「システムデザインシンキング」に関するワークショップです。10名の獣医師たちがワークショップを企画・運営し、カナダ・NSCAD大学で教鞭をとるクリストファー・カルテンバッハ氏が講師を務めます。テーマは「丸の内から東京の都市を考える」。一見関係のないような事柄に関係性を見出し、課題を解決していく方法を習得します。

▶日程：2月26日(木)19時～22時00分 ほか全7回※任意参加プログラムあり

▶会場：TIP*S / 3×3Labo(日本ビル6階) ほか

▶参加費：一般 15,000円 学生 5,000円



2014年に行われたワークショップの様子

2月26日(木) 生物多様性委員会

正式名称：都市緑地における生物多様性に配慮した
新たな評価の方向性についての検討委員会

現代の環境・気候にあった、都市ならではの生物多様性を提言

2013年度から設置されている大丸有地区の「生物多様性委員会」2014年度最終検討会が2月26日に行われます。これまでの会では、都市緑地は、都市計画上の緑被面積による評価だけではなく、居心地の良さに加えて、生物多様性の取り組みといった質の評価へシフトしつつある現状を整理し、当地区としてどのような取り組みを進めていくべきか、官民の有識者を交えた意見交換を進めてきました。

最終検討会では、現代の都市環境や気候にそった在来種植栽の可能性を探るモニタリングとそのマネジメントサイクルの形成について、当地区に集う就業者や来街者が楽しみながら参加できる仕組みづくりとともに検討するなど、エリア既存のまちづくり活動の強みも生かした生物多様性推進スキームの構築を考えます。また、皇居を中心とした生物多様性の広がりを目指し、都内他地区の緑地との連携も視野に入れた取り組み等を検討し、国や自治体とも連携し、生きものと共存するまちづくりに向けた提言としてまとめていきます。

▶日程：2月26日(木)19時～20時30分 会場：エコツェリア(新丸ビル10階)

※ECOZZERIA.jpでは、2014年度生物多様性委員会の様子を詳しくまとめたレポートを公開しています。<http://www.ecozzeria.jp/events/special/event0129.html>

from
ECOZZERIA.JP

今月の気になるキーワード

丸の内生きもの
ハンドブック

丸の内という都市環境にどのような動植物が生息・分布しているのかを、写真を多く取り入れわかりやすく紹介しているのが「丸の内生きものハンドブック」です。「自然環境情報ひろば 丸の内さえずり館」（運営：三菱地所※2014年12月閉館）が収集した膨大なデータをもとに、丸の内周辺で観察できる昆虫・植物・野鳥をまとめています。

当協会ウェブサイト「ECOZZERIA.JP」では、この「丸の内生きものハンドブック」のデジタル冊子のほか、銀河とブラックホールの関係や銀座のツバメの調査など、自然保護・環境保全をテーマとした自然科学の分野で活躍する有識者のコラムをまとめた「知恵ブクロウ」を無料で読むことができます。

【シリーズ：知恵ブクロウ】<http://www.ecozzeria.jp/series/chiebukuro/>

▶ECOZZERIA.JPは、国内外の持続可能な社会をつくる取り組みを紹介するポータルサイトです。